

あゆみ ～挨拶・友情・未来～

香川大学教育学部附属坂出中学校

3年団通信～5月号～

R2. 4. 27発行



〈学校、仲間、授業、…〉

新しい学年が始まって1か月。このような生活が続く中で、3年生のみなさんは不安や心配な気持ちを持ちながら、早く普通の学校生活に戻りたいと思って過ごしていることと思います。

何ごとも前向きに考えることが大切ですが、今回の休校措置をどのようにすれば前向きにとらえられるか、みなさんも考えてみましょう。

「仲間」いつもは当たり前のように毎日会っていた級友や学年団の友だち、部活のチームメイト。この休みで、仲間たちと会えないことがどれだけ寂しいか実感している人も多いと思います。だからこそ、また学校が再開したときには今まで以上に仲間を大切にできる自分になれるのではないのでしょうか。

「授業」今までみなさんは学校での授業にとっても意欲的に取り組めていました。（中には苦手な教科があったり、消極的であったりすることもあったかもしれませんが…。）しかし、それらの授業が全くない今の生活をどう思いますか。もちろんテストや入試に向けての心配もあるかもしれませんが、授業で新しいことを学ぶうれしさや、仲間と一緒に考えを語り合ったり、活動したりする充実感、それらに気づいた人も多いのではないのでしょうか。

「学校」ずっと生徒がいない学校で過ごす中、もどかしい、むなしい気持ちになる先生もたくさんいます。やはり学校は生徒のみんなが存在してこそその学校なんだと改めて実感しています。学校が再開されたときに休校だった時間を取り返すべく、教職員、生徒のみんな、保護者のみなさんで、協力できたらと思います。そしてこの経験があったからこそ、人や時間をこんなに大切に思えるようになった、と振り返られる日が来ればと思っています。



（保護者のみなさまへ）

平素は学校へのご理解、ご協力を賜りたいへんありがとうございます。

たいへんな時期ではありますが、今後とも子どもたちのために、学校と家庭とのご協力をお願いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

